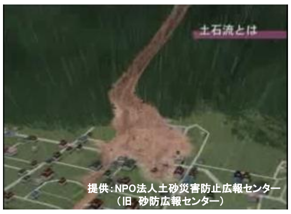
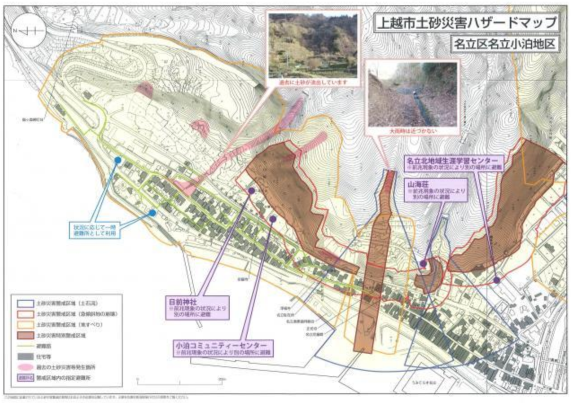
必須－４	中学校	学習のねらい　～土砂災害から身を守る方法を考える～ 〇学校周辺（地域）のハザードマップを確認する。 〇土砂災害から身を守る方法について考える。	知る 考える 行動する

■事前の確認

〇学校区周辺のハザードマップ（または土砂災害警戒区域）を入手しておく。

〇ハザードマップは、教職員用資料「資306：新潟県市町村防災担当窓口一覧（土砂災害）」に紹介している市町村の防災担当窓口から入手するほか、「資304：ハザードマップの入手法」で紹介している新潟県ホームページのURLアドレスを参考に、教職員で出力・準備する。

※市町村がまだ作成していない場合は、近隣市町村のものを使用する。

	学習内容（展開例）	指導ポイント・使用資料
【導入】	１．土砂災害への関心を喚起させる ①<u>土砂災害の映像や土砂災害CG</u>を映し、3つの土砂災害への関心を喚起する。 ②土砂災害から身を守るための備えや行動について学習することを伝える。	<u>注：グループ（班）別の学習を想定</u> ◆<u>資101-122：土砂災害映像や土砂災害CG</u> 
【展開】	２．ハザードマップから身の守り方を考える ①土砂災害の危険区域や避難場所などを確認できる<u>土砂災害ハザードマップ</u>を紹介し、自分たちが住んでいる地域のハザードマップを実際に見てみることを提案する。 ②学校区周辺のハザードマップを各班に配付し各班で以下のことを行うよう指示する。 １）学校周辺や市町村の土砂災害警戒区域を確認し、危険箇所等を知る。 ２）指定避難所の位置を確認し、学校や家からの避難経路を確認する。 ③ハザードマップを見て、危険箇所や避難所を知ることは、土砂災害から身を守るための「備え」であることを説明する。	（土砂災害ハザードマップの例）  **＜指導ポイント＞** 〇危険箇所や避難所を知ることは、土砂災害から身を守るための「備え」であること。

	学習内容（展開例）	指導ポイント・使用資料
【展開】	④<u>ワークシート</u>を掲示し、「備える」「注意する」「早めに避難する」「危険を避ける」の4つの観点から、身を守る行動について話し合いをさせる。 ⑤話し合いの結果を用紙に記入させ、班ごとに発表させる。	◆ワークシート04 ・おもて面の表を参考に、模造紙などに拡大した記入用紙を班の数だけ用意・配付する。 ・うら面のイラストは考える際のヒントとして利用する。 ◆資305：土砂災害に対する備えや避難行動について を参照
【まとめ】	**３．学習した内容を振り返る** ①<u>ワークシート</u>の「うら面」に、授業を通じて考えたことや思ったことを記述させる。 ②土砂災害から身を守るために、以下の4点について、生徒と確認する。 １）非常時の持ち出し品の準備や危険箇所を調べておくなどの**「備える」** ２）雨が続いたり大雨になった時や地震の後などには土砂災害に**「注意する」** ３）前ぶれなどに気づき、危険を感じたら**「早めに避難する」** ４）避難時には山や崖に近づかないなどの**「危険を避ける」**	◆ワークシート04 ◆いざというときに備えて準備 ◆避難情報に注意しよう ◆土砂災害が起こりそうな時には斜面や山、川には近づかない ※特別警報については◆資311：特別警報リーフレット及び気象庁ホームページを参照してください。